

あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-22111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



「舞戸地区新春ふれあい広場」が1月13日（日）、舞戸公民館で開かれました。写真は、同行事の恒例イベントとなっている子供たちの缶積み競争の一コマ。ティッシュ箱と空き缶を使い、30秒以内にどれだけ高く積むかというゲームですが……。

①の写真 慎重に。慎重に。このままだとぼくが一番。

②の写真 30秒たちました。手を放して。あちゃー。



12月議会
定例会号

- 2 12月定例会のあらまし
- 3 第2回・第3回臨時会
- 4～9 一般質問（6議員）
- 10 まち再生のためにーこの人に聞くー



12月3日～12月7日

鯨ヶ沢町課設置条例を可決 25年度から行政組織は新体制に



4月から機構改革により組織が変わる町役場

平成二十四年第四回定例会が十二月三日から七日までの五日間の日程で開かれました。三日の開会日には、鯨ヶ沢町課設置条例などの議案九件、意見書案三件が上程されました。六日には一般質問が行われ、六名の議員が諸問題について町側に答弁を求めました。また、最終日の七日には総括質疑及び討論、採決が行われ、上程された議案、意見書案がいずれも全会一致で原案どおり可決されました。また、議員発議として提案された議会委員会条例の改正、議会会議規則の改正も同じく全会一致で可決されました。

十二月定例会で可決された主な議案・意見書案・議員発議

◎議案

◆鯨ヶ沢町課設置条例の制定

様々な行政課題に効果的、効率的に対処するため町行政組織の再編（機構改革）を行うため制定したもの。

概要は、港湾地域振興室を廃止し、税務課と町民生活課を統合。また、健康福祉課、産業振興課をそれぞれ二課に分離し再編するとともに建設管財課の名称を建設課に改めるものです。

※新組織は、3ページに掲載。
◆平成二十四年度町一般会計補正予算
歳入、歳出それぞれ六九八〇万六〇〇円を追加し、歳入歳出予算の総額を六七億九七五万三〇〇〇円とするもの。

主な補正額（歳出）は次のとおり。

●防災行政無線親卓等改修事業（防災行政無線

整備事業債

二〇〇〇万円

※債とは借金のこと。ただし、同事業債の元利償還金の七〇パーセントは後年度、普通交付税に算入されることになっていきます。

●光ファイバーケーブル移設事業（明海橋架け替え工事に伴うもの）
一二七〇万円

●農業用施設災害復旧事業（細ヶ平・長間瀬）
四〇七万円

◎意見書案

◆消費税増税の中止を求める意見書

◆生活保護基準の引き下げはしないことなどを求める意見書

◆「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

◎議員発議

◆町議会委員会条例の一部改正

◆町議会会議規則の一部改正

※これらの改正は、地方自治法の改正に伴い行われたものです。

議会用語 ひとくち解説

意見書とは？

地方自治法では、地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、関係行政庁に提出することができるものと定められています（ただし、意見書には法的拘束力はありません）。

鯨ヶ沢町議会では、諸団体等から意見を求める請願が提出された場合、主に議会運営委員会においてその内容を吟味したうえで、議会に提案するか否かの決定を行います。

提案の決定がされた場合、意見書案は、議員発議として議会に提案されることとなります。

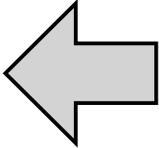
新年度から町役場の組織（課）が変わります。



現在の町民生活課。4月から税務課と統合し、税務町民課になります。

平成二十五年四月一日から町役場の組織（課）が変わります。
大きく変わった点は、これまでであった町民生活課と税務課が統合され、税務町民課となる一方、健康福祉課は、福祉衛生課と健康ほけん課の二つに、産業振興課は、観光商工課と農林水産課の二つに分離されることになりました。また、港湾地域振興室は廃止されることになりました。
なお、新組織は下図のとおりですが、詳しい業務内容、町役場内の配置図などについては、広報あじがさわ3月号に掲載されていますので、ご覧ください。

- ### 新しくなる町役場の組織
- 総務課（選挙管理委員会事務含む）
 - 政策推進課（企業誘致含む）
 - 税務町民課
 - 福祉衛生課
 - 健康ほけん課
 - 観光商工課
 - 農林水産課
 - 建設課
 - 議会事務局
 - 会計課
 - 農業委員会
 - 教育課
 - 水道課



- ### これまでの町役場の組織
- 総務課
 - 政策推進課
 - 町民生活課
 - 税務課
 - 健康福祉課
 - 会計課
 - 港湾地域振興室
 - 産業振興課
 - 建設管財課
 - 議会事務局（選挙管理委員会事務含む）
 - 農業委員会
 - 教育課
 - 水道課

平成24年 第2回・第3回臨時会

平成24年第2回臨時会が10月29日に、第3回臨時会が11月29日に行われました。第2回臨時会では、財産の取得などの議案2件、また、第3回臨時会では、県人事委員会からの勧告等に基づき町職員、町議員などの期末手当支給割合を改正（引き下げ）する条例などの議案6件が提出され、審議の結果、両臨時会に提案された議案は、全会一致で可決、承認されました。なお、両臨時会に提出された主な議案は、次のとおりです。

学校給食センター 食器・食缶洗浄機購入

- ◎第2回臨時会
- ◆財産の取得
町立学校給食センターの食器洗浄機、食缶洗浄機を指名入札により新たに購入するもの。落札額は二六七七万五〇〇円。
- ◎第3回臨時会
- ◆職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆特別職の給与に関する条例の一部改正

- ◆教育長の給与等に関する条例の一部改正
- ◆議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◆専決処分 平成二十四年度町一般会計補正予算 十二月十六日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に伴う予算措置の専決処分。歳入歳出それぞれ一〇六五万円を増額。



渋谷 正義議員

機構改革の意図及び方向性は

問・これからの時代は、ますます人口減少と少子高齢化に拍車がかかると思われ、目先のことは、目先のことばかりや行き当たりばったりの政策、あるいは、今が良ければいいではなく、五年、十年、二十年と長いスパンを見据えた政策、将来に向けた基盤の充実を図り、将来にひずみがない住みよい地域社会を描きながら、その実現に向けて確実に歩まなければならないと思います。

強化的な体制を作り機構改革を

〈答〉 行政課題に的確に対応できる組織を構築

は、住民にとってわかりやすい、利用しやすい組織であること。そして、簡素で効率的な組織であること。さらには、行政課題に対して的確に対応できる組織であることを意図しています。

その方向性については、人事、事務事業、そして、予算の一体管理を目指すことにしています。

意見・産業の振興と企業誘致に対して、厳しい中ではありますが、揺るぎなく進めていくことが大事であり、このことについても強化的な体制づくりを図りながら機構改革に当たっていただきたいと思えます。

また、これからもなお人口減少や景気不振の社会情勢によって、社会はもっと厳しく変貌していくものと仮定しなければなりません。

交付金や補助金、あるいは、税収等の財源の問題など、財政の検証、財政の予見をして進んでいくことが望ましいと思えますが、この点についても機構改革において、その役割を網羅する機能を備えることが必要だと思えます。何とか検討していただければと思います。

校舎等の活用方針は問・余剰遊休施設の有効利用についてお聞きします。我が町では、人口の減少と少子高齢化によって数多くの小中学校が統合され、多くの校舎が利用されないまま現存しています。



舞小の放課後ルームで使われている旧町立幼稚園

一方、町では、消防署や町庁舎の老朽化をはじめ耐震化を満たしていない施設など、徐々に建て替え時期を迎えようとして

二校から一校になり、計六校が廃校となりました。また、それ以前に閉校となった学校もあり、それらも含めて学校跡地等利用基本方針を作成しています。

基本的な考え方としては、既存校舎を有効に活用する。改修が必要な場合でも最低限度とする。また、運動場及び体育館は、災害時の避難所としての機能を維持するとしています。

現在、利用している廃校ですが、一中は弘前大学の先生の研究資料の保管場所、町発掘担当の資料の保管場所として、また、自衛隊の訓練の場所としても提供しています。

深谷小学校は、個人の住宅兼仕事場ということに陶芸家の方に使っていただいています。

建石小学校は、縫製工場として使っています。

鳴沢小学校は、個人の方に植物の乾燥、保管という目的で夏から十一月まで貸し出しています。

中村小学校は、資材、非常用の水の保管場所として使っています。また、中村地区の皆さんにかしの保管場所として使っていただいています。

幼稚園は、舞戸小学校の放課後ルームとして利用されています。

公共施設として使えないかということですが、その可能性については、今後検討が必要であろうと思っています。

意見・ほとんどの学校があらゆる面で使われていることを聞きまして、有効利用されているという認識を持ちました。

ただ、これから新しく建設を予定しているものがいくつかあるようですので、廃校などを利用できるかどうか検討していただければと思います。

※渋谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◎今後、町が進めていく可能性のある産業の振興並びに企業誘致等の推進について



一戸千代久議員

再生可能エネルギー 推進の取り組みは

問・本年七月から再生エネルギーの固定価格買取制度が始まりました。これまで再生エネルギーによる発電は割高で、参入する企業、事業者も多くありませんでしたが、今回の買い取り価格が十分に利益を出せる価格設定になったことから、自然エネルギーによる発電事業に乗り出す企業が出てきました。

これからは、自然エネルギーによる発電の拡充を図り、電力の地産地消に取り組む時が来たと思います。

再生エネルギー推進のためにこれからの取り組み計画はありますか。答弁・産業振興課長

現在、再生可能エネルギー

再生可能エネルギーに関する基本計画を 〈答〉行政・民間の役割分担を含め検討

ギ一等導入地方公共団体支援基金を活用して、今年度から三年間で庁舎をはじめ学校等に太陽光発電装置設置の事業を展開しています。

再生可能エネルギーを活用することで、今後、いろいろな取り組みに反映させていきたいと考えています。

問・岩手県の葛巻町には、風力発電十五基があり、第三セクターです。赤字になれば大変ですが、風車十五基で五億円

の収入を上げているという事です。

葛巻町のような基本計画がないために鱒ヶ沢町の場合、ほとんど業者を迎えるだけのような気がします。独自の構想、計画などは持っていないのですか。

答弁・産業振興課長
有効に使える補助制度などがあればいいのですが、初期投資に要する一般財源の持ち出しという事を考えれば、現状ではなかなか難しいのではないかと思います。

現在、やはり、企業が来た場合のお手伝いなど、その程度にとどまるのではないかと思います。問・本来、自然エネルギーの活用は、農漁村の活性化を一つの目的とする国の方針にあるのです。その基本方針にのっとって市町村は再生

エネルギーに関して基本計画を作りなさいということになっています。

町に基本計画がないため、企業の誘致等を積極的にできない状況になっているのではないのですか。

答弁・産業振興課長
現在のところ、基本計画はありませんが、計画を作るにあたっては将来に向けて当然、実行計画まで持つていくべきと考えられますので、そうすれば、当然、行政が行う部分、民間企業が行う部分など役割分担も出てきます。その辺も含めて検討したいと考えています。

意見・ぜひ先手、先手と行ってください。既に他の市町村にもほとんど来ていますから、厳しい財政状況の中で、できることを探して鱒ヶ沢町の活性化につなげる方針を掲げてほしいと思います。

学校トイレの洋式化の状況は

問・家庭、店舗、旅館などでは、トイレの洋式化が進んでいます。学校トイレは、和式のままで洋式化が進んでいないのが現状です。学校トイレが和式のため、悩みを抱える子もいるようです。

学校トイレを和式から洋式に変えることは、多額な費用を要しますが、洋式化は急速に進行しています。教育現場である学校トイレが置き去りにされることは許されません。

当町の学校トイレの洋式化の状況はどのようになっていますか。

答弁・教育課長
西海小学校は、男子児童、女子児童ともすべて洋式となっています。舞戸小学校は、男子児童十一個のうち四個が洋式、女子児童二十一個のうち七個が洋式となっています。

鱒ヶ沢中学校は、男子

生徒十二個のうち八個が洋式、女子生徒二十四個のうち八個が洋式となっています。

問・全部洋式化になっていないということですが、大規模改修した際に和式を残した根拠はあるのですか。

答弁・教育課長
家庭のトイレの洋式化が進んでいますが、まだ和式のトイレもあると思います。今後の一般家庭などの状況を見ながら随時対応はしていきたいと思っています。

ただ、教育委員会、学校で特に気を付けなければならぬことは、子供たちがトイレにいけないとか我慢しなければいけないとか、そのように健康、勉学によくないという事であれば、至急、対応していかねばならないことだと思います。

トイレの和式、洋式の形にこだわることなく、排せつに対する意識の指導等を含めて対応していきたいと考えています。



昨年9月に視察した能代風力発電所



鶴田 悦子議員

RI誘致の可否に至る手順は

〈答 最終的には町民の判断〉

RI誘致の最終決定は

問・研究施設等廃棄物最終処分場（Rー）の鰯ヶ沢町への誘致の最終決定についてお聞きします。

長内副町長は、平成二十一年三月議会において、誘致した場合のメリットやデメリットを説明したうえで、町民に最終決定をもらうかと答弁しています。

限られた期間に限られた交付金が行政に入り、何十人かの雇用が得られることがメリットと言えればメリットですが、町民にとってデメリットばかりの企業誘致の最終決定は、どのような手順を踏んで行うのか、今一度答弁してください。

ます。平成二十一年三月議会での私の答弁であり、最終的には町民の判断だということですが、これは、町長もそのように考えています。進め方として、基本的には、一つ、誘致を前提に町民に判断を求め、三つ目、そのためには、行政は正確な情報を提供する。四つ目は、町民に様々な情報を提供する。そして、説明会では、まず一つ、事業の意義を理解、納得できるか、これをお話しする。二番目は、事業が十分に安全であること、これが判断できるか。三つ目は、事業による影響を受忍できるか。迷惑を被っても我慢できるか。四番目が、万一の被害に対して、その対策あるいは、対価の

補償があるかどうか。最後は、そのうえで自分たちにメリットがあるかどうか。これを判断していただくということですが、以上の内容で、町民の説明会というのは、決める細かく実施していきたい。そのうえで最終的に町民の判断を求めたいという趣旨であります。

町が堆雪所を確保することは

問・今年の三月議会で堆雪所は業者が確保すると答弁していますが、世の中が老人社会になったことを前提に、町が積極的にかかわって堆雪所を確保し、家庭の玄関先でできるだけ雪を寄せないようにはできないものですか。

答弁・建設管財課長 除雪業者に対しては、各自が担当する工区の除雪を実施するに当たり、堆雪所が必要な場合は、所有者の承諾を得て実施するよう指導しています。業者に責任を持って担当地区を受け持つてもらいたいということです。また、除雪業者もそれぞれやり方があると思いますので、自ら堆雪所を確保することで円滑な作業ができると思っています。

防災教育の現状は

現状は

問・釜石市における群馬大学片田敏孝教授の八年間にわたる指導のおかげで、東日本震災では、市内の小中学生のうち、当日欠席した五人のみの犠牲であったことは、釜石の奇跡であると言っています。

害や火災などに備えて、児童生徒の人命の安全並びに被害の防止を図るために学期ごとに避難訓練を実施しています。

一方、鰯ヶ沢町では、避難所に指定されている高台の学校が、わざわざ地域の保護者に迎えに来させたり、第二次避難所が、いの一歩に危険にさらされる氾濫原に建つ公民館になっていたりと、町の小中学校の防災に対する姿勢は、釜石に比べれば雲泥の差でありませんか。

また、今年度は弘前大学小岩教授の協力を得て、防災意識の啓発を目的に全学校で津波を想定した防災学習を行いました。問・今の町長になってからは、防災に力を入れなければいけないということ、片田先生を二回も呼んでおり、すばらしいと私は評価しています。それなのに、今の指導する先生方があまりにいないというのは、いかがなものでしょうか。

答弁・教育長 片田先生の講演会の資料は、先生方に配布しています。

今年度になって、各学校とも防災に関して真剣に取り組んでいる姿は、現場にいて感じます。昨年度、鶴田議員から指摘を受けたことを反省し、徹底した形で学校に指導

答弁・教育課長 町内の小中学校では、地震、津波などの自然災

を受けて、今年度になって、各学校とも防災に関して真剣に取り組んでいる姿は、現場にいて感じます。昨年度、鶴田議員から指摘を受けたことを反省し、徹底した形で学校に指導



長谷川統一議員

日本海拠点館再開の検討は

問・日本海拠点館は、町の入口付近に建っており、

駐車場もがらがらといった状況で、当町のシティセールスの観点からイメージ的に良くないという感じを受けます。

やはり、もう一度再利用を踏まえて検討すること

が、町のイメージダウンを避けられることにならないのではないかと思います。が、どのような考えなのかお聞きします。

答弁・副町長

日本海拠点館については、空調設備、その他の改修等、相当多額の経費が見込まれます。財政サイドとしてもその財源について検討してきた経緯がありますが、現在、めどが立っていません。

シルバー人材センターの再設置を

〈答〉現状での復活は困難

一方、町の財政状況は、収支が好転してきてはいますが、拠点館再開のための運営費、維持管理費を賄えるような財源確保が立っていない現状です。

したがって、拠点館については、館全体の管理についても検討しながら引き続き図書コーナーの運営に継続して取り組んでいくという考えです。

シルバー人材センター設置の検討は

問・高齢者の方々の社会参加を考えるうえで、

シルバー人材センター等の設置が必要ではないかと思いますが、そのような考えがあるかお答えください。

答弁・健康福祉課長

シルバー人材センターは、単に労働力の提供だけでなく、高齢者の持つ知識や技能などを社会

に還元するという側面を担っていますので、その担う役割、意義は感じているところです。

ご承知のとおり鱈ヶ沢町のシルバー人材センターは、二年前に解散しています。その経緯として公共事業の落ち込みから受注件数が減り、収入が減少。加えて町の財政も厳しいことから補助金の削減という厳しい条件が重なり、運営が困難となつて解散に至つたという経緯があります。

このような状況は、今も変わりませんので、シルバー人材センターを復活させることは、困難な状況にあると思います。

問・確かに、シルバー人材センターというくくりで考えると、いろいろな規制や縛りがあって、難しい状況ですが、高齢者の方々が集まって、ただ、

収入を上げることが目的にするのではなくて、生きがいを感じながら社会貢献していくという組織を作っていくかなければならないと思います。

例えば山菜を取って飲食店に使ってもらい、ブランド化させていくということも考えられると思いますが、いかがですか。

答弁・健康福祉課長

シルバー人材センターは、確かに労働云々だけではどうしても完結しない部分があります。今、提案のあつたようなものも複合的に考えなければいけないと思いますので、今後の課題の一つとして取り組んでいきたいと思っています。

町内会組織の世代交代の支援は

問・各町内会単位では、運営しているのが、大半、

高齢者の方々であり、若い世代が運営に携わっておらず、このままでは運営の引き渡しがうまくいかないのではないかと感じます。

まちづくりの観点から、ある程度、町でリードしていかねければならないと思いますが、考えをお答えください。

答弁・政策推進課長

ご指摘のとおり、現在、町内会を担っているのは、大半が高齢者の方だと認識しています。世代交代がスムーズにいったいのが現状です。

今、町内においては、人口減少、少子高齢化が進んでおり、町内会活動はもとより集落の維持に、非常に苦慮している状況にあります。

町では、これまでも協働のまちづくりというところで各地区の町内会連合会、連絡協議会を支援してきましたが、今後は、世代交代という問題も含めて、また、町内会活動や集落維持という観点か

らも、住民の皆さんと町が一緒になって総合的に検討していきたいと思っています。

意見・町内会にかかわる組織づくりは、各地区によつて温度差があると思いますが、いずれにしても行政がこれこれしてあげないと、自然におとなしくなつて、協働のまちづくりにつながっていかないと考えます。早急な検討をお願いしたいと思います。

※長谷川議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◎日本海拠点館図書コーナーの管理は、臨時職員だけで行われているが、管理体制に不備はないか。

◎地域の歴史や文化、技術等を次世代に伝えるため高齢者と子供たちや若い世代の人たちを結びつける仕組みが必要だと思ふが、町の考えは。

◎町長の掲げる元気あふれる町再生のためにも思い切つた財政計画も必要だと思ふが、町の考えは。



齋藤 孝夫議員

子宮頸がん予防接種の状況は

問・全国で子宮頸がんの予防接種を受けた人の割合は、地域によってかなりの差があると聞いています。当町の接種を受けた人の割合及び課題についてお知らせください。

答弁・健康福祉課長

概要から説明します。対象となるのは、中学校一年から高校一年までですが、このワクチンは、六か月の間に三回打つ必要があります。

接種状況ですが、平成二十三年から二十四年の十月まで一回でも受けた人は、二百六十一人に対し百十七人で、四十四・八パーセントになります。

あえて課題ということになれば、接種率をもつ

最終処分場問題の今後の対応は

〈答〉管理者の意向に同意し問題に対応〉

と上げることが課題となると思いますが、鯉ヶ沢町の場合、自己負担を取っています。そのような状況を緩和することによって接種率を上げたいということになると思います。

最終処分場問題についての考えは

問・西海岸衛生処理組合の最終処分場の問題(※)

実施設計業務の見直し業務にかかわる業者への訴訟問題のこと)について、数回、町から説明を受けましたが、町長は、同組合の副管理者として今後のように考えているのかお聞きします。

答弁・町長

この問題について、先般、深浦町において組合の全員協議会が行われました。その時の管理者



大字赤石町字大和田地内で行われている西海岸地域新一般廃棄物最終処分場建設工事。本年12月完成予定

(※現在の西海岸衛生処理組合の管理者は、深浦町長)の考えは、第一に今の工事を完成させたいということでした。

それから、業者への請求については、検討したいという考えであります。が、工事の見通しがついた時点でそれをやりましょうという考えでありますので、管理者とよく話し合って進めていきたいと考えています。

問・町長としては、今のまま管理者の進むべき方向に同意して、見守るということでもいいのですか。

答弁・町長

はい、そうです。

保育所職員公募の対象年齢は

問・保育所職員の採用についてお聞きします。

保育所を町で運営する方針の中、保育士の高齢

化が進むので、若い人を採用すると私は聞いていました。が、何年生まれの人までを対象に公募する予定なのかお知らせください。

答弁・総務課長

四十九歳までを対象として募集しました。

問・四十九歳とするならば、あと十年余りで定年であるし、それならば臨時職員を採用するなどして、わざわざ一般採用しなくてもいい感じがするのですか。

答弁・総務課長

現保育士の年齢と新採用した場合の年齢のバランスを考慮する必要があるということ。今回、年齢の幅を四十歳までに幅を持たせたということ。です。

問・保育所もこれから先何年維持していくのかわかりませんが、保育所が無くなったときに採用された人は、畑違いの形で一般職になるわけです。

そのような可能性があるならば、一般の採用試験の中で、保育士の資格

験の中で、保育士の資格を持っていて若い人を採用すればいいのではないのですか。今いる人と若い人の年の差があっても関係ないと思いますが、いかがですか。

答弁・町長

今回の保育士の採用の要綱については、今、議員が言ったとおりだと思います。今後、十分、その要綱について考えていきたいと思っております。

問・今回の公募は、このままやるということですか。四十九歳までの人を採用するというのですか。それとも新たに若い年代まで下げるといふことなのか、そのことをはっきりしてほしい。

答弁・町長

もう試験は終わっており、その判定会議がこれからです。採用者は決まっていますが、できるだけ若い人を採用したいと考えています。

意見・疑問の持たれない採用の仕方をしていただきたいと思えます。



今 勝義議員

アユ養殖事業を赤石水産漁協に託しては 〈答〉 事業安定のため町直営を維持〉

アユ・イトウ養殖
事業の状況は

問・当町のアユ、イトウ
の養殖事業についてお聞
きします。

なかなか成果が見られ
ない状況ですが、事業の
現況をお知らせください。

答弁・産業振興課長
アユについては、今年
度の状況は、放流用の種
苗の販売が五十六万尾、
金額になると一一七〇万
円、おとり、食用として



アユ養殖場で販売しているアユの真空パック
(青森・赤石川の金の鮎)

二万六千尾、金額で四五
〇万円の合計一六二〇万
円ほどになっています。

イトウについては、
一千七百尾、金額で
九〇〇万円の見込みと
なっています。

現在、両施設とも生産
能力を超えた生産をして
いるため、これ以上の生
産は難しいと思われるす
ので、現状のまま、事業
を行っていきたくないと考
えています。

問・赤石水産漁業協同組
合に託してアユ、イトウ

の養殖事業を成功させて、
自立を促し、雇用を生む

よう黒字になるような方
向性、考えはないものか
お聞きします。

答弁・産業振興課長

以前は、そのようなス
タイルで運営してしまし
たが、なかなか成果も上
がらなかったため、その
後、町一般会計でやるよ
うになりました。それで
も一般会計の持ち出しが
あったため、平成二十年
度から町で直営するよう
になって、いくらか収益
が見込まれるようになり
ました。

平成二十二年度からは、
特別会計を組んでおり、
収支の均衡は図られてい
ます。

問・アユは、町で採卵し
て稚魚にしている状況で
すが、いつも失敗してい
るようで、何原因なの
でしょうか。

答弁・産業振興課長
雇用については、アユ、
イトウ、各二名の従業員
を雇用しており、これは
漁協に委託していた当時

答弁・産業振興課長

決算議会の時も報告は
していますが、特別失敗
しているとは感じていま
せん。

特に今年度は、鱒ヶ沢産
の五十六万尾のアユが県
内全域の河川に放流され
ており、テレビ、新聞で
も報道されています。何
をもつて失敗しているの
かという点については、
私には疑問です。

問・アユ事業、また、イ
トウについても鱒ヶ沢町
役場独自でなく、今まで
携わってくれた赤石水産
漁業協同組合にも自立し
ていただきながら、雇用
を持てるようにしてい
だきたいと考えています
が、いかがですか。

答弁・産業振興課長
雇用については、アユ、
イトウ、各二名の従業員
を雇用しており、これは
漁協に委託していた当時

と何ら変わっていません。
また、事業が安定する
のは、今のスタイルが一
番いいと考えています。
以前は漁協のほうに委託
していましたが、運営面、
経費面、収支面で考える
とあまり芳しくなかった
ものですから現状のスタ
イルを維持していたほう
が得策だと思えます。

問・3・11の災害を教訓
として各地区町内会など、
地理的要件が異なる状況
において、津波対策など
の防災事業をどう展開し
ていくのかお聞きします。

答弁・総務課長
津波対策の防災事業で
すが、ハード対策、ソフ
ト対策の両面にまたがる
かと思えます。

ハード対策として、堤
防のかさ上げ、高潮対策
などということになれば、
事業主体は県になります。
青森県では、今後、日本
海側の津波浸水予測図を
出すことになっています。

問・町内会長などと防災
について、もっと密接に
信頼関係を持ちながら防
災訓練などを進めていた
だければと思えますが、
いかがですか。

答弁・総務課長
昨日も職員が舞戸の町
内会に行つて避難経路、
誘導看板の設置について
話をさせていただいてい
ます。

また、災害時の要援護
者については、健康福祉
課が窓口となってリスト
作成に取り組んでおり、
三月までに完成する予定
になっています。

特集

まち再生のために

Vol.3

この人に聞く

つがるにしきた農業協同組合組合長

山田 衛さん

つがるにしきた農業協同組合

平成19年4月、深浦町・つがる白神・つがる・富蔭・鶴翔・津軽北部の6農協が新設合併して発足。津軽西部の南は旧岩崎村から北は旧小泊村までの広範囲な地域をカバーしています。

Profile

平成二十年八月から「つがるにしきた農業協同組合」組合長。当町黒森在住。



中山間地域の農地を守るため 集落単位の組織づくりを支援

特集「まち再生のために〜この人に聞く〜」は今回が第三回目。現在の農業を取り巻く状況などについて「つがるにしきた農業協同組合」組合長の山田衛さんにお話を伺いました。聞き手は、一戸千代久広報委員、事務局です。

Q 昨今の農業事情について、どうお考えですか。
山田組合長・農業を取り巻く状況は、非常に厳しいものがあります。外国から安い農産物がどんどん入ってきていますし、TPPの問題もあります。また、地方では、過疎化が加速しています。特に、中山間地域では、高齢化が進み、後継者もいません。耕作放棄地も増えています。
将来的に採算ベースに乗らないところは廃れ、生産地は、平野部などの基盤整理された大きなところを集約されていくような気がします。
Q こちらのようには産業がないところでは、農家で

生活できるような仕組みがあれば、若い人も残ることができると思うのですが、いかがですか。
山田組合長・津軽地方のような豪雪地帯では、農家は、十一月から四月までの間、仕事がありません。昔は、米価も安定していましたし、公共事業があつて、冬の間、人夫などの仕事をすることもできましたが、今は、それもありません。このような状況では、若い人たちを養っていくのは大変です。
Q 農業だけではなく、第一次産業は、厳しい状況に置かれています。鰯ヶ沢町の農業の特徴、また、長所があれば教えてください。
山田組合長・米とりんど、スイカ、メロンなどが大きなウエイトを占めていますが、リンゴは生産性が低いような気がします。ただ、スイカ、メロンはすばらしいと思います。鳴沢地区では、部会で決めたを守って生産しています。会員も多くありませんが、目標に向かって規約を守り、規格に当てはまったものだけを出荷しています。規格を守れない人は脱会させてしまつくらい厳しいと聞いています。これは見習わなければなりません。
手作業だけでも、糖度といい、規格といい、全農本部の取り扱いの中でもトップの品質です。
Q 最後に、当町の農業を再生するには、どうすればいいのお聞きします。
山田組合長・農業を昔と同じような状況に再生することは、難しいかもしれませんが、農家離れは、どんどん加速しています。山間部などは特に大変で、過疎化は止まらないと思います。
小規模な農家が、個々で機械投資をし、それぞれ収穫を行っているのは、コスト面等、無駄が大きくなことは明らかです。
農地を維持していく手立てとして、これからは、集落単位で組織づくりをしていかなければ、生き残れないのではないかと思います。現在の農業を維持していく方法としては、今のところ、それしかないと考えています。
農協でも個々の農家に支援することは難しいのですが、集団を支援することは可能です。
二十五年程度からは、管内でモデル地区を作って、集落の組織化をぜひ実現させ、農協としてバックアップしていきたいと思っています。